

亀田郷農業水利事業完工記念シンポジウム

「田園型政令指定都市に

おける今後の展開」

座談会発言者

新潟市長

篠田 昭

亀田郷土地改良区理事長

五十嵐 修平

北陸農政局長

内村 重昭

進 行

新潟大学教授

伊藤 忠雄

伊藤教授 国営亀田郷

農業水利事業の完工を契機に、この地域は大変な歴史を踏まえてきており、そうした過去を振り返りつつ、これからこの地域はどういうふうな発展を目指していったらいいだろうか、篠田新潟市長、五十嵐亀田郷土地改良区理事長、そして内村北陸農政局長、お

三方と話し合いを進めてまいりたいと思っております。まずは、篠田市長から水と土の壮絶な闘いをしてまいりましたこの亀田郷地区、あるいは新潟平野を「水と土の王国」というふうに表示されておられます。そのような辺りからお話を伺うことにしたいと思います。

それを私ども、大変な先人達の闘いによってこれほどの美田地域に変えていただいたという事については、常にその事を忘れては、また先人達の闘いに敬意を表し、また、今築いて頂いたこの水と土の田園環境、これを未来永劫、この田園環境を大切にしたいという気持ちで、我々が生きていくのだと言ふような気持ちで行く必要があるというふうに思っております。

21年度新潟では、NHK大河ドラマの「天地人」、「水と土の芸術祭」更に「新潟ときめき国体」、JRさんのデスティネーションキャンペーンなどがあり、大勢の方に来て頂いて、この素晴らしい水と土の暮らし文化、これを知っていただきたいというふうに思っております。

芸術祭を実施するにあたっては、おそらく昔の栗ノ木排水機場、この跡を使ってアートを創りたいというふうな提案が色々出てくると思うので、是非、北陸農政局の皆様にもご協力頂いて、こんな素晴らしい場所があったんだという事を市民に知っていただきたいと思っております。

変具合が悪くなってきた、さらに平成10年の8・4水害の時に大変苦労した。そこで2代目の親松排水機場を造らなければいけないという状況になり、今日ここに完工を迎えた訳です。

私も土地改良区の仕事としては排水対策だけでなく、やはりどうしても農業の規範となる事をやらなければいけない。10月の初めに研修で、つくば市の農工研に行きましたが、そこでは、暗渠による水管理、それによって田畑の輪換が可能になるというシステムがございました。やはり、こういう大きな目で見た事業をやるには、私も単独ではなかなかできない、これからは色々な国営事業をよろしくお願ひしたいと思っております。

ですが、本日完工いたしました亀田郷地区のような、国営事業をはじめとしたしまして、我が国の農業生産を支える農業水利施設、この保全、あるいは更新整備というものの考え方につきまして、農政局のお立場からお話いただければと思います。

海面以下の低湿地帯が「先人達の闘いにより美田」



篠田市長

篠田市長 亀田郷は、本当に新潟の中核を占める位置にございますが、4200ヘクタール程の広大な農地のうち、2/3程が日本海の平均潮位以下の地帯という事で、まさに地帯にない湖というような低湿地帯でございます。

胸まで浸かっていたというふうな大変な農作業、これを後に「街道をゆく」で取材をされた司馬遼太郎先生は、「死にも耐えられない労働」というふうな、その深田での農作業を評しておられますけれども、そういう大変な作業から地域の農民が解放され、この低湿地帯が一大美田に変わっていったと伺っております。

私もここへ来る前に東北電力スタジアムビッグスワンの辺りを立ち寄ってきたのですが、あの場所が、腰まで胸まで水に浸かった一番悪い場所の一つではなかったのだろ

うかというふうに思っています。今は全く一変し素晴らしい地域になっている訳であります。そうした地域に生まれ変わったのも栗ノ木排水機場があり、さらにその後能力アップした親松排水機場、こういう事に

私、昭和21年に小学校に入っております。冬になりますと、県道ですけれども2箇所ほど、土囊をつんで、そしてその上に板を渡して学校に通っております。ところが23年、栗ノ木排水機場が完工いたしますと、それが無くなりました。まさにそれからが、この亀田郷の乾田化が進んでくるという訳でございます。

新潟県内、皆さんお解りのように、大きな河川が三本流れています。信濃川、阿賀野川、それから関川、その他それに伴

今、食料自給率の低下についてどう対応していく

後平野一帯がまさに「地帯にない湖」というような状況だったと思えます。

その面ではこの越後平野一帯がまさに「地帯にない湖」というような状況だったと思えます。

その面ではこの越後平野一帯がまさに「地帯にない湖」というような状況だったと思えます。

その面ではこの越後平野一帯がまさに「地帯にない湖」というような状況だったと思えます。

その面ではこの越後平野一帯がまさに「地帯にない湖」というような状況だったと思えます。

その面ではこの越後平野一帯がまさに「地帯にない湖」というような状況だったと思えます。

その面ではこの越後平野一帯がまさに「地帯にない湖」というような状況だったと思えます。

栗ノ木排水機場の完工により乾田化が

適宜的確な施設更新



五十嵐理事長



内村農政局長

私、昭和21年に小学校に入っております。冬になりますと、県道ですけれども2箇所ほど、土囊をつんで、そしてその上に板を渡して学校に通っております。ところが23年、栗ノ木排水機場が完工いたしますと、それが無くなりました。まさにそれからが、この亀田郷の乾田化が進んでくるという訳でございます。

私、昭和21年に小学校に入っております。冬になりますと、県道ですけれども2箇所ほど、土囊をつんで、そしてその上に板を渡して学校に通っております。ところが23年、栗ノ木排水機場が完工いたしますと、それが無くなりました。まさにそれからが、この亀田郷の乾田化が進んでくるという訳でございます。

私、昭和21年に小学校に入っております。冬になりますと、県道ですけれども2箇所ほど、土囊をつんで、そしてその上に板を渡して学校に通っております。ところが23年、栗ノ木排水機場が完工いたしますと、それが無くなりました。まさにそれからが、この亀田郷の乾田化が進んでくるという訳でございます。

私、昭和21年に小学校に入っております。冬になりますと、県道ですけれども2箇所ほど、土囊をつんで、そしてその上に板を渡して学校に通っております。ところが23年、栗ノ木排水機場が完工いたしますと、それが無くなりました。まさにそれからが、この亀田郷の乾田化が進んでくるという訳でございます。